

## 【営農基礎講座】

コースの特徴	講師陣は、専属講師が担当し、わかりやすく楽しく説明します。 午前は講義を、午後は圃場で実習を行います。		
対象者	次の条件をすべて満たす方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内在住か県内移住予定の方</li> <li>・耕作可能な農地がある方</li> <li>・農業をしている、または就農予定の方</li> <li>・農業に関心があり、基礎的な農業技術を学びたい方</li> <li>・農業参入を考えている企業の従業員の方</li> <li>・受講期間中、傷害保険に加入していること</li> </ul>		
内容等	野菜・果樹の栽培、土壌肥料、病害虫などの基礎講義、野菜栽培を中心とした実習など 講義: 午前(9時30分～12時) 実習: 午後(13時～15時30分)		
募集期間	春夏クラス	令和6年1月15日(月)～6年3月1日(金)	
	秋冬クラス	令和6年6月3日(月)～6年7月12日(金)	
開講時期	春夏クラス	令和6年4月～6年8月	各クラス: 月1～4回、 水曜日または木曜日 【全15回】
	秋冬クラス	令和6年8月～7年2月	
開講場所	講義: 農林水産総合技術支援センター講義室、実習: センター圃場		
定員	各クラス: 15名		
受講料	各クラス: 9,300円		
受講申込みの方法	綴じ込みまたは農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )の受講申し込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。		
その他	受講料とは別に、教科書代等の経費が必要です。 農業経営者育成講座・農業の環境負荷低減技術講座との同時申込・受講はできません。		

# 営農基礎講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

クラス名 (○で囲む)	( 春 夏 ・ 秋 冬 ) クラ ス		
希望曜日 (○で囲む)	水曜日 ・ 木曜日 ・ どちらでもよい		※受講曜日はご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。
フリガナ			性 別(注)
氏 名			
住 所	〒 _____		
生年月日	昭和 ・ 平成	年	月 日生 ( 歳)
電 話	( _____ )	—	
ファクシミリ	( _____ )	—	
日中の連絡先 (携帯電話など)	( _____ )	—	
E-mail			

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。
① 既に就農している（専業）（ _____ 年前から） ② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業）（ _____ 年前から） ③ 今は就農していないが就農する予定である（ _____ 年 _____ 月頃から） ④ その他（ _____ ）
2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。
現在栽培している農地（ _____ a）、 休耕等で栽培していない農地（ _____ a）、 現在貸しているが返却予定のある農地（ _____ a）、その他（ _____ a）
3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入して下さい。
作物名（ _____ ）（ _____ a）、作物名（ _____ ）（ _____ a） 作物名（ _____ ）（ _____ a）、作物名（ _____ ）（ _____ a）
4. 当講座に期待されていることは何ですか。
5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。 (記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。)
※これまでの受講歴の有・無を記入してください。(公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く) ・ ない ・ ある ( _____ 年度 _____ 講座名 _____ )

(注) 答えたくない方は記入不要です。なお、更衣室等の都合のため別途聞きとりする場合があります。  
 この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。